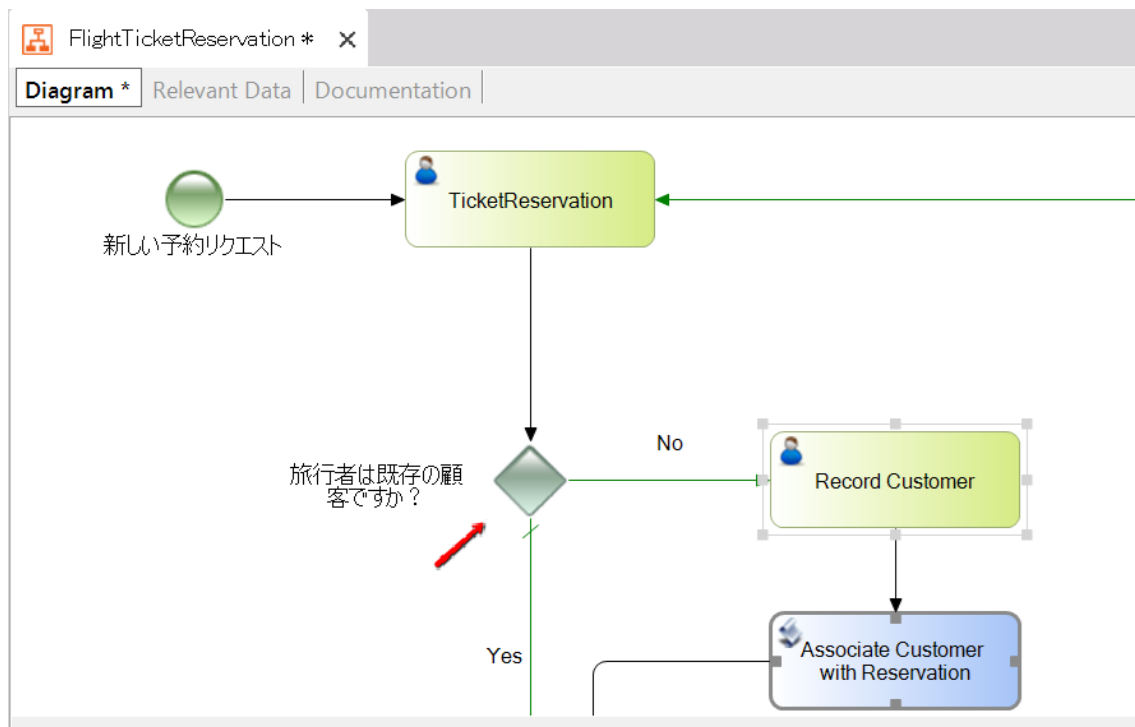


ダイアグラムの最初の実行

前の章では、旅行チケットの予約を記録するタスクに対してトランザクションオブジェクトを関連付ける方法を確認しました。

ダイアグラムを続けると、予約が記録されたら乗客が会社の顧客であるかどうかを判断する必要があります。



これは、「Reservation」トランザクションの画面に予約データを入力するときに、顧客でない場合は、「CustomerId」項目属性に値を入力しないことを意味します。

顧客を評価するには、排他的なゲートウェイと顧客記録タスク「Record Customer」をリンクするコネクタをダブルクリックし、条件エディターのウィンドウを開きます。

値が入力されているかどうかを判断するには、「Reservation.CustomerId = 0」と定義します。

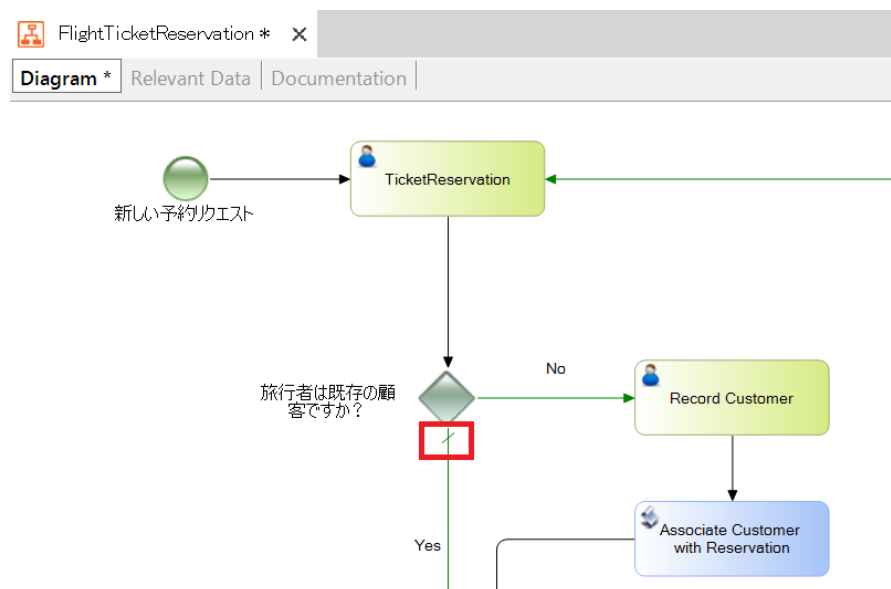
条件エディター

1 Reservation.CustomerId = 0

OK キャンセル

トランザクション名を使用して「CustomerId」項目属性を識別し、「Reservation」トランザクションの外部キーである属性（「Customer」トランザクションの主キーである「CustomerId」に対応するもの）を決定することに注意してください。

OK を押してダイアグラムに戻りましょう。「No」というラベルの付いたコネクタにはすでに条件を入力しています。ただし、「Yes」というラベルの付いたコネクタには、前の条件と反対の条件を入力する必要はありません。すでに「Default」として指定しているからです。



この場合、「No」に入力された条件が満たされない場合、プログラムフローは自動的に「Yes」の接続を介して続行されます。

ここで、「Record Customer」タスクの「Web Object」プロパティをクリックして、「Customer」トランザクションに関連付けてみましょう。関連データの「CustomerId」が作成されていることがわかります。

アプリケーション記述

アプリケーション: Customer ...

データマッピング

主キー項目属性	関連データ
CustomerId	CustomerId +

OK キャンセル

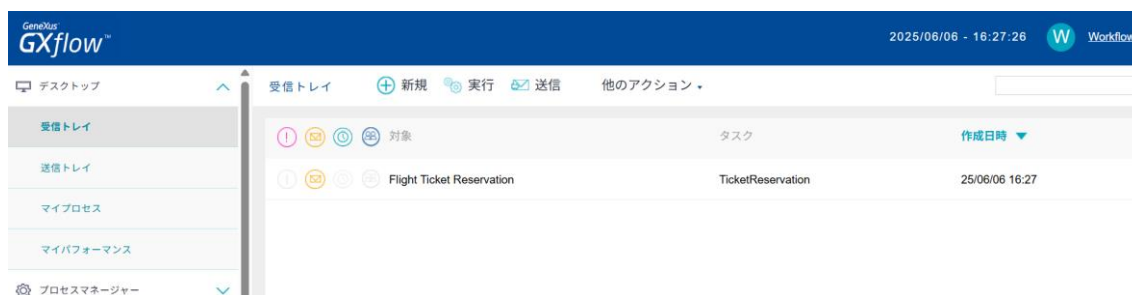
ここで「OK」を押して、ビジネスプロセスダイアグラムを初めて実行してみましょう。

その前に、実行時にエラーが発生しないように、図の他のゲートウェイの条件を完了しましょう。排他的なゲートウェイ「別の予約を行いますか？」と「TicketReservation」をリンクする接続をダブルクリックし、ひとまずその値を「True」に設定します。この後、実際の条件を設定します。

ダイアグラムを実行するには、ダイアグラム名を右クリックして「実行」を選択します。

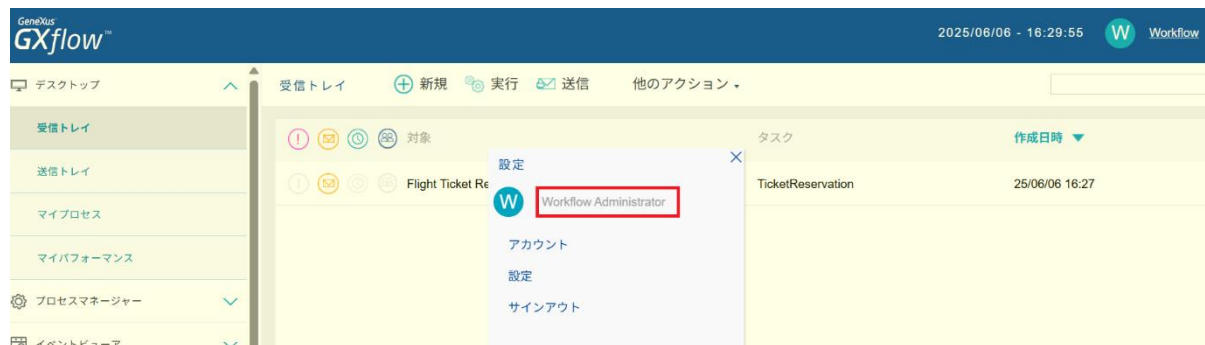
ダイアグラムを実行するのは今回が初めてなので、データベースと、モデル化するプロセスの定義を格納するテーブルが作成されます。この情報はメタデータと呼ばれ、プロセスの実行と管理のためにワークフローエンジンによって管理されます。

KB オブジェクトの Specification、生成、コンパイルが完了すると、ブラウザに Gxflow クライアントのメインウィンドウが表示されます。



このアプリケーションを使用すると、プロセスの実行、監視、管理が可能になります。

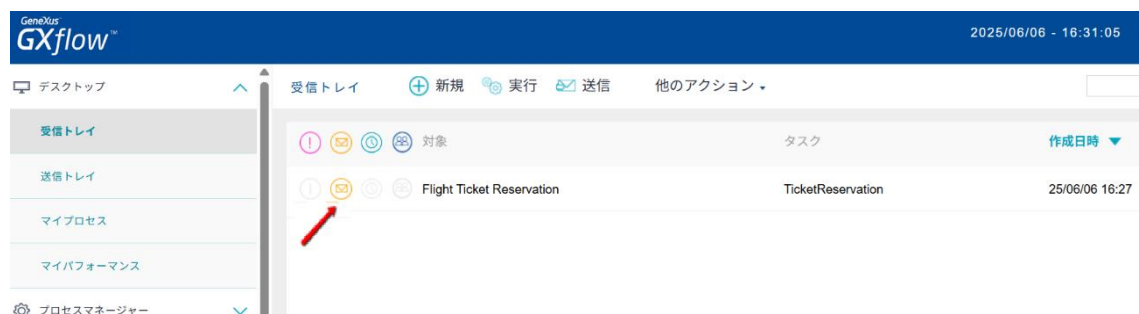
画面は、3つのセクションに分かれています。上部には日付、時刻、ログインしたユーザー(この場合はワークフロー管理者)のヘッダーがあり、左側にはオプションメニューがあります。中央のセクションは受信トレイとなり、ログインしたユーザーに割り当てられた保留中タスクを表示できます。



まだロールやユーザーを定義していないため、デフォルトでタスクが割り当てられているユーザーはワークフロー管理者であり、定義されたすべてのプロセスを表示および実行できることがわかります。

受信ボックスの上部には、タスクに対するアクションを実行するためのボタンがいくつかあります。

受信ボックスの内容に注目すると、閉じた封筒のアイコンがあり、件名欄には「FlightTicketReservation」というプロセス、タスク欄には「TicketReservation」というタスクが表示されていることがわかります。閉じた封筒は、このタスクが実行待ちであることを示しています。

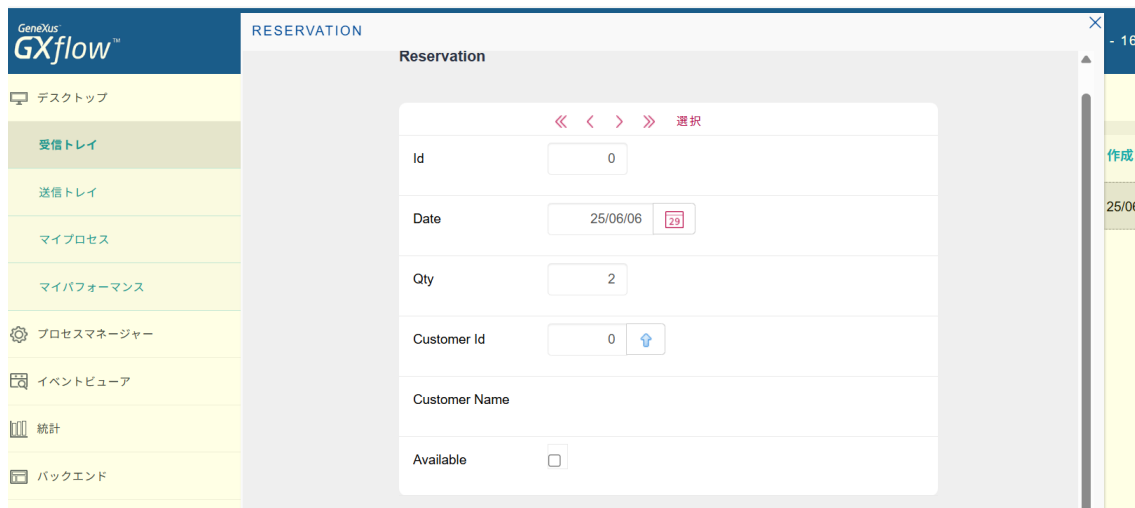


「TicketReservation」タスクを実行するには、タスクをダブルクリックするか、または選択して「実行」ボタンを押します。

予約を入力するための「Reservation」トランザクションが開きます。

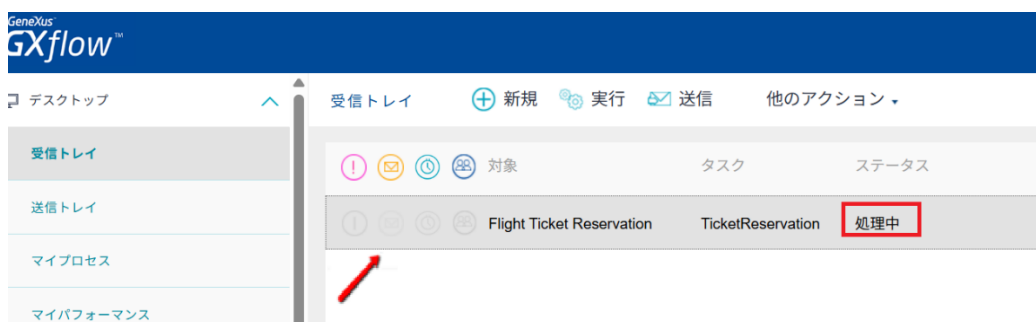
Id は自動採番を設定しているため、値は 0 のままにしておきます。今日の日付を選択し、Qty に 2 を指定します。乗客の顧客識別子はわからないため、予約が代理店の顧客ではない乗客用であることを示します。そのため、「CustomerId」も 0 のままにします。

予約可能かどうかを示す「Available」チェックボックスも空白のままにしておきます。これは今後評価されるためです。



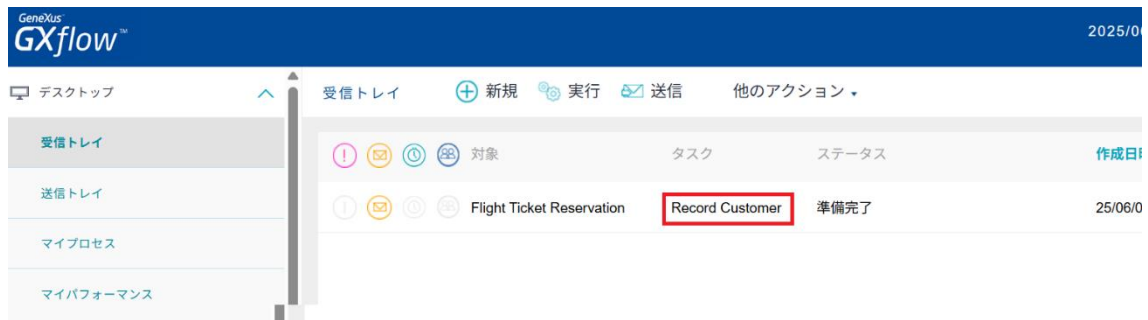
確認を押すと、レコードが正しく追加されたことが分かります。その後、「X」を押してフォームを閉じます。

受信トレイでは、閉じた封筒のアイコンが消え、タスクのステータスが「処理中」に変わっていることがわかります。

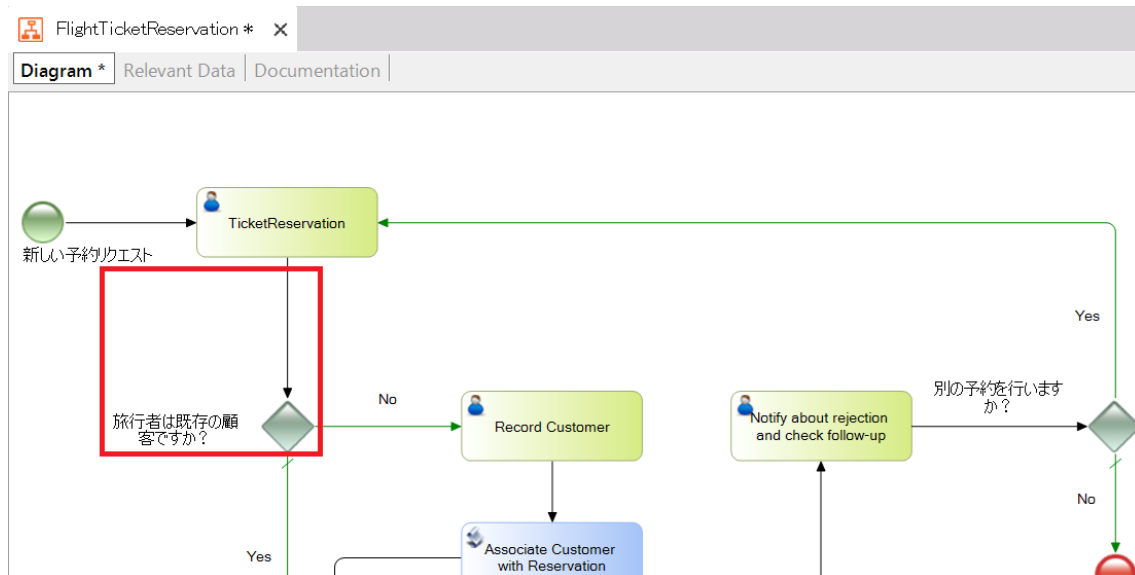


これはタスクの送信準備が完了したことを示しているので、「送信」を押下します。

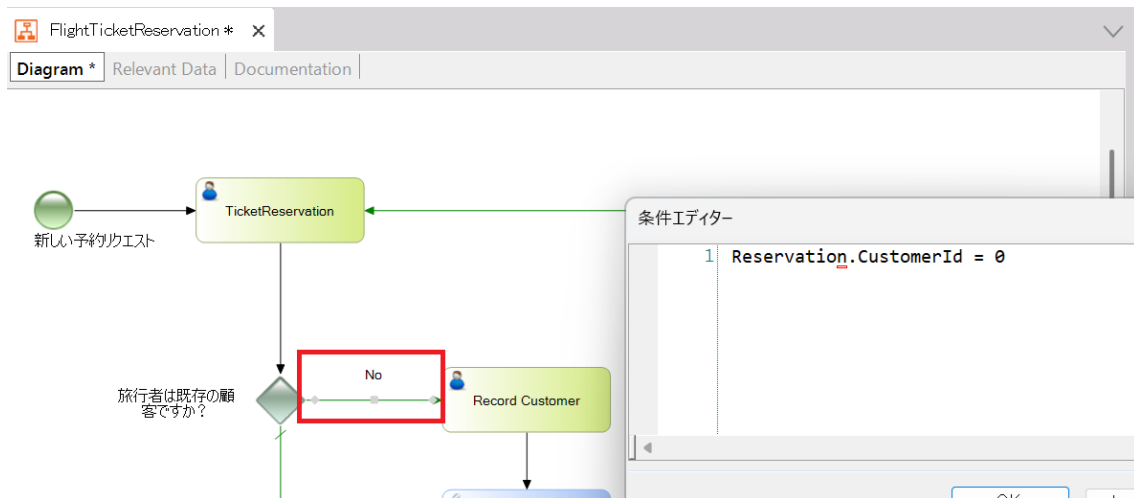
現在実行が保留中のタスクは「RecordCustomer」であることがわかります。



プロセスダイアグラムを見ると、「TicketReservation」タスク（「Reservation」トランザクションが実行された場所）が完了すると、プロセスが排他ゲートウェイ「旅行者は既存の顧客ですか？」に流れたことがわかります。



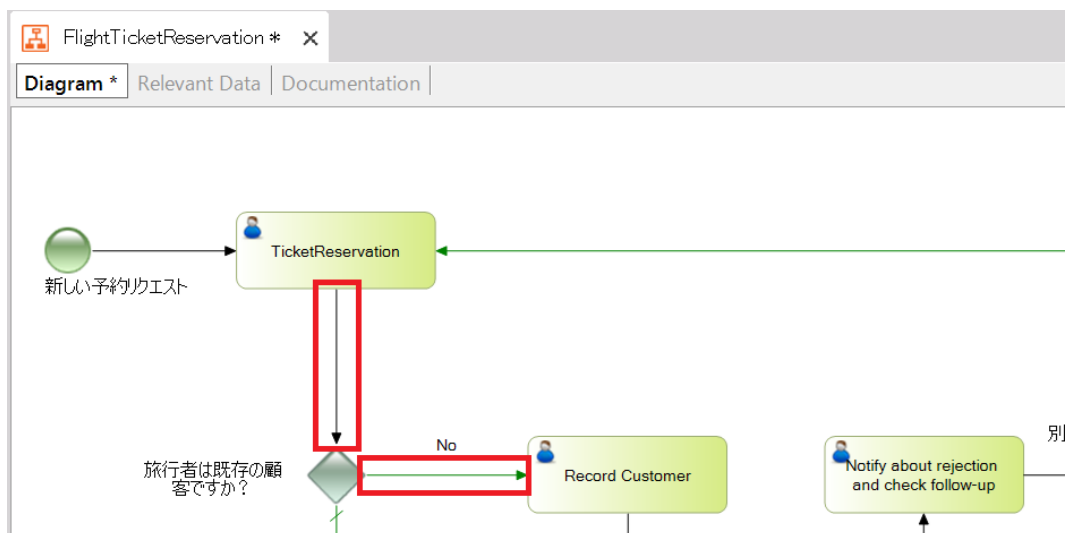
次に、「No」とラベル付けされたコネクタに入力した条件が評価されました。



条件では、対象の予約を指定せず、「Reservation」の「CustomerId」項目属性の値のみを参照していることに注意してください。

前述のように、トランザクション内の各主キーに対して、項目属性の値にマップされた関連データが 1 つ作成されます。関連データには、予約の作成時にインスタンス化された「ReservationId」項目属性の値が含まれます。そのため、その値はダイアグラム全体で認識され、常にその予約内になります。

「CustomerId」に値を指定していないため、条件は満たされ、次に実行されるタスクは、受信トレイに示されているように「Record Customer」になります。



タスクを実行するには、まずタスクを選択し、「実行」ボタンを押します。予約に対応する個人を旅行代理店の新規顧客として入力するための顧客取引画面が開きます。

CUSTOMER

Customer

« < > » 選択

Id	0
Name	John Parker
Is ACompany	<input type="checkbox"/>
Address	6500 Main Street, Houston, USA
Phone	555-123456
Email	jparker@gmail.com

エントリーを確認したら、作成した顧客と入力した予約を関連付ける必要があります。これは、次の章で確認できます。